

ご回答方法

パソコンのWebブラウザ（Google Chrome など）で、

<https://mhnu.rviewer.cloud>

にアクセスしてください。

別紙に記載してあるログインID、パスワードを使用してログインしてください。

表 1 アンケート質問項目

No.	質問(全文)	回答形式
はじめに		
1	貴院の医療機関名をご記入ください。※医療機関名はアンケートの集計、解析のみに用います。	フリーテキスト
2	貴院の診療報酬上の病床数を教えてください。	数値
3	貴院の臨床に携わる医師数を教えてください。	数値
4	貴院は特定機能病院ですか？ はい いいえ	ラジオ
5	貴院は地域医療支援病院ですか？ はい いいえ	ラジオ
6	貴院の 2020 年 4 月以降の手術件数は何件ですか？	数値
7	ご回答される方の職種をお答えください。一つだけ選択してください。 看護師・助産師 薬剤師 臨床検査技師 診療放射線技師 その他	ラジオ フリーテキスト
医療安全体制		
8	貴院の医療安全対策加算の取得状況を教えてください。 加算1を取得している 加算2を取得している 取得していない わからない	ラジオ
9	貴院の医療安全対策地域連携加算の取得状況を教えてください。 加算1を取得している 加算2を取得している 取得していない わからない	ラジオ
10	貴院の医療安全の責任者は誰が務めていますか？ 病院長 副病院長 その他	ラジオ フリーテキスト
11	貴院では上記以外の医師が医療安全活動に関与していますか？ はい いいえ	ラジオ

- | | | |
|----|---|---------|
| 12 | 11に該当する医師で、「専従」として医療安全管理に携わる医師数を教えてください。
※全業務に占める医療安全業務の割合が80%以上の方を専従と定義します。 | 数値 |
| 13 | 「専従医師」がいる場合、最も長い人で専従医師となって何年目ですか？ | 数値 |
| 14 | 医療安全管理者養成研修40時間研修を受けた専従医師は何人いますか？ | 数値 |
| 15 | その後、最も研修を受けた専従医師で、追加で何時間程度研修(アドバンスコース等)を受けていますか？ | 数値 |
| 16 | 11に該当する医師で、「専任」として医療安全管理に携わる医師数を教えてください。
※全業務に占める医療安全業務の割合が50~79%の方を専任と定義します。 | 数値 |
| 17 | 「専任医師」がいる場合、最も長い人で専任医師となって何年目ですか？ | 数値 |
| 18 | 医療安全管理者養成研修40時間研修を受けた専任医師は何人いますか？ | 数値 |
| 19 | その後、最も研修を受けた専任医師で、追加で何時間程度研修(アドバンスコース等)を受けていますか？ | 数値 |
| 20 | 11に該当する医師で、「兼任」として医療安全管理に携わる医師数を教えてください。
※全業務に占める医療安全業務の割合が50%未満の方を専任と定義します。 | 数値 |
| 21 | 「兼任医師」がいる場合、最も長い人で兼任医師となって何年目ですか？ | 数値 |
| 22 | 医療安全管理者養成研修40時間研修を受けた兼任医師は何人いますか？ | 数値 |
| 23 | その後、最も研修を受けた兼任医師で、追加で何時間程度研修(アドバンスコース等)を受けていますか？ | 数値 |
| 24 | 「専従」として医療安全管理に携わる看護師数を教えてください。※全業務に占める医療安全業務の割合が80%以上の方を専従と定義します。 | 数値 |
| 25 | 「専任」として医療安全管理に携わる看護師数を教えてください。※全業務に占める医療安全業務の割合が50~79%の方を専任と定義します。 | 数値 |
| 26 | 「専従」として医療安全管理に携わる薬剤師数を教えてください。※全業務に占める医療安全業務の割合が80%以上の方を専従と定義します。 | 数値 |
| 27 | 「専任」として医療安全管理に携わる薬剤師数を教えてください。※全業務に占める医療安全業務の割合が50~79%の方を専任と定義します。 | 数値 |
| 28 | 医師、看護師、薬剤師以外で医療安全業務に専従、または専任として携わっている職種があれば教えてください。全業務に占める医療安全業務の割合が80%以上を専従、50~79%を専任と定義します。 | フリーテキスト |

医療安全活動

- | | | |
|----|--|----|
| 29 | 2019年度における貴院のインシデント・アクシデント報告総数をご記入ください。 | 数値 |
| 30 | 2019年度における貴院でのヒヤリハット(患者影響度レベル0, 1)の報告割合(%)をご記入ください。分母:2019年度の全てのインシデント・アクシデント報告数 | 数値 |

31	2019 年度における貴院での医師によるインシデント・アクシデント報告数をご記入ください	数値
32	2019 年度における貴院での医師によるヒヤリハット(患者影響度レベル0, 1)の報告割合(%)をご記入ください。分母:2019 年度の医師による全てのインシデント・アクシデント報告数	数値
33	貴院では、インシデント・アクシデント報告の読解や医学的重要度に応じた仕分けを行っていますか？ よく行っている ときどき行っている まれに行っている ほとんど行っていない	ラジオ
34	貴院の医療安全管理部門において、インシデント・アクシデントの改善のための会議(定期、不定期、臨時を含む)を 2020 年の4月以降で何回程度開催しましたか？(インシデント検討会等。M&M カンファレンスは除く)	数値
35	貴院の医療安全管理部門において、院内で公式に行ったラウンドの回数は何回ですか？	数値
36	貴院の医療安全管理部門では、アクシデントや重大事故発生時の治療のための連携や、関係医師らとの緊急会議などを行っていますか？ よく行っている ときどき行っている まれに行っている ほとんど行っていない	ラジオ
37	貴院の医療安全管理部門では、アクシデントや重大事故発生時の病態の医学的評価、患者への影響や予後の判断を行っていますか？ よく行っている ときどき行っている まれに行っている ほとんど行っていない	ラジオ
38	貴院の医療安全管理部門において、医療事故調査制度における医療事故が疑われる死亡についての病理解剖の際、病理医と医療安全管理部門は連携していますか？ よく連携している ときどき連携している まれに連携している ほとんど連携していない 病理解剖はほとんど行っていない	ラジオ
39	貴院の医療安全管理部門において、医療事故調査制度における医療事故が疑われる死亡についての Ai 撮影の際、放射線科医と医療安全管理部門は連携していますか？ よく連携している	ラジオ

	ときどき連携している まれに連携している ほとんど連携していない Ai 撮影はほとんど行っていない	
40	医療事故調査制度下における医療事故調査件数を教えてください。(制度開始後～)	数値
41	医療事故調査対象とするかの判断のための会議を何回開催しましたか？(制度開始後～)	数値
42	直近2年間で M&M カンファレンスは何回開催しましたか？	数値
43	貴院の医療安全管理活動の改善のための PDCA サイクルの実施状況を教えてください。 PDCA を行っており、数値に基づいて評価(C)している PDCA は行っているが、不十分である。 PDCA は行っていない	ラジオ
44	貴院では、医療事故調査において、有効な再発防止策の立案をしていますか？ よく行っている ときどき行っている まれに行っている ほとんど行っていない	ラジオ
日常業務		
45	あなたは貴院の医療安全管理の体制に満足していますか？ 不満～満足	VAS スケール
46	不満を感じている場合、次のどれに当てはまると思いますか？ 医療安全管理スタッフの人数の不足 医療安全管理スタッフのスキルや積極性の不足 医師の協力不足 上層部の理解不足 他部署の協力不足	チェック
47	上記で「医師の協力不足」の場合、次のどれに当てはまると思いますか？ 医療安全担当医師が少ない 医療安全担当医師のスキルや積極性の不足 医療安全担当医師の理解不足 他部署の医師の協力不足	チェック
48	貴院の医療安全責任者(院長や副院長)の医療安全活動に対する姿勢についてお尋ねします。 消極的～積極的 否定的～肯定的 その理由	VAS スケール VAS スケール テキスト
49	医療安全管理部の医師の医療安全活動に対する姿勢についてお尋ねします。	

	消極的～積極的	VAS スケール
	否定的～肯定的	VAS スケール
	その理由	テキスト
50	医療安全管理部の医師は全てのインシデント・アクシデントレポートを読んでいますか？	ラジオ
	全て読んでいる	
	一部読んでいる	
	全く読んでいない	
	「一部読んでいる」場合、どのようなレポートを読んでいますか？	テキスト
51	あなたの病院は社会から求められている医療安全管理業務を実施できていると思いますか？	VAS スケール
	できていない～できている	
COVID-19 診療		
52	この間、COVID-19 の重症患者の入院のために準備した病床数(最大値)をご記入ください。	数値
53	COVID-19 の重症患者に実際に使用した病床数(最大値)をご記入ください。	数値
54	この間、COVID-19 の疑い、あるいは軽症患者の入院のために準備した病床数(最大値)をご記入ください。	数値
55	COVID-19 の軽症患者に実際に使用した病床数(最大値)をご記入ください。	数値
56	(COVID-19 患者を受け入れた医療機関の場合)この間、COVID-19 の入院を受け入れたことにより、日常診療に影響がありましたか？	
	ない～多大な影響があった	VAS スケール
57	影響の内容	フリーテキスト
COVID-19 影響		
58	COVID-19 の流行により、患者安全活動への影響がありましたか？	
	ない～多大な影響があった	VAS スケール
59	COVID-19 対応において、患者安全部門と感染制御部門の役割分担は明確でしたか？	VAS スケール
	あいまい～明確	
60	COVID-19 下において、患者安全業務が確保できていますか？	VAS スケール
	確保できていない～確保できている	
61	COVID-19 の流行により、患者の医療事故のリスクは変化しましたか？	VAS スケール
	患者は安全になった～極めて危険になった	
62	危険になったと感じる場合、その理由をお聞かせください	フリーテキスト
63	安全になったと感じる場合、その理由をお聞かせください。	フリーテキスト
64	以下の中で、影響のあった業務を挙げてください。(複数選択可)	チェック
	インシデントレポート収集	
	医療事故調査	

患者安全に関する緊急の会議
インシデント検討会やワーキング
PDCA 活動
医療安全研修の運営
その他

フリーテキスト

アンケート回答状況

病院規模	施設数	回答施設数	回答率
小規模	2451	259	10.6%
中規模	1716	282	16.4%
大規模	749	178	23.8%
合計	4916	719	14.6%

病院規模
 小規模:199床以下
 中規模:200～399床
 大規模:400床以上

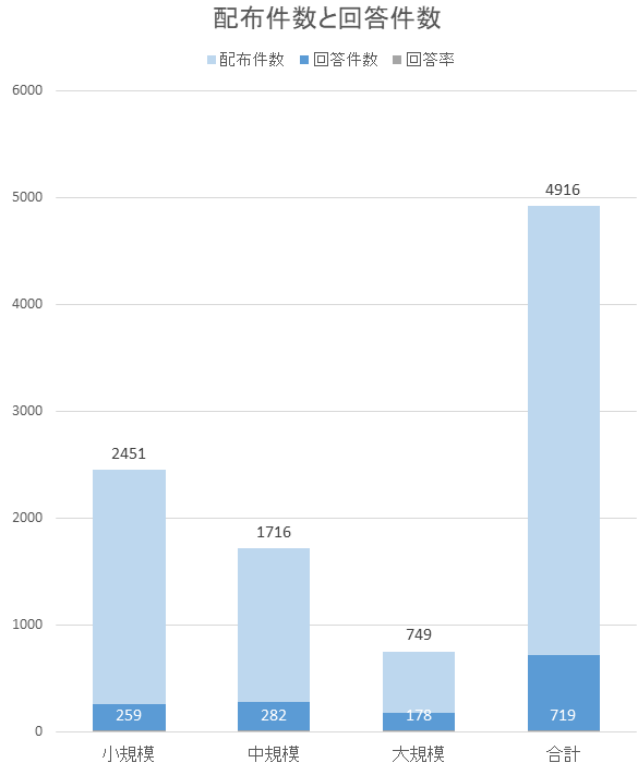


図 121

病院規模と専従医師の存在

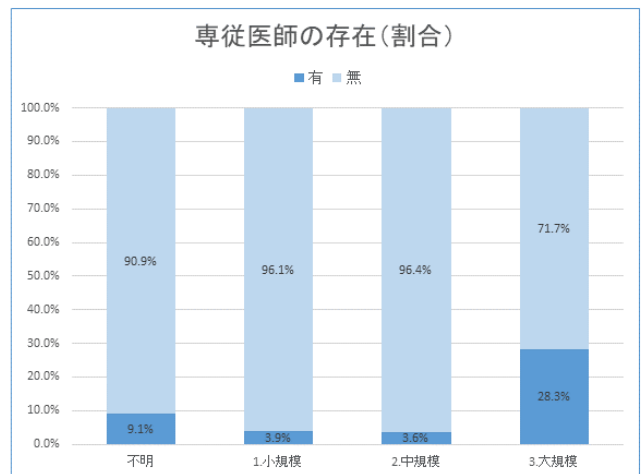
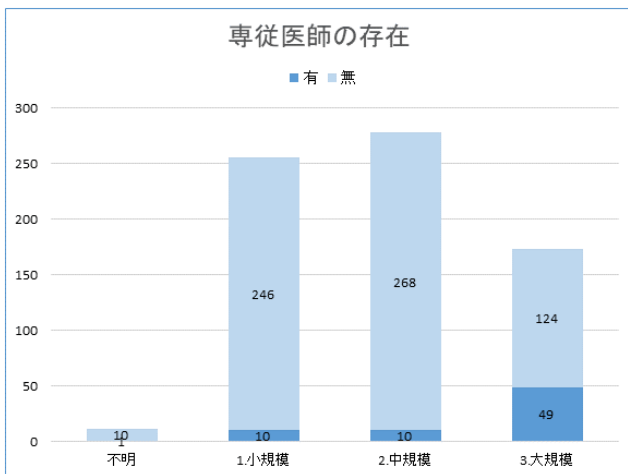


図 122

病院規模と専任医師の存在

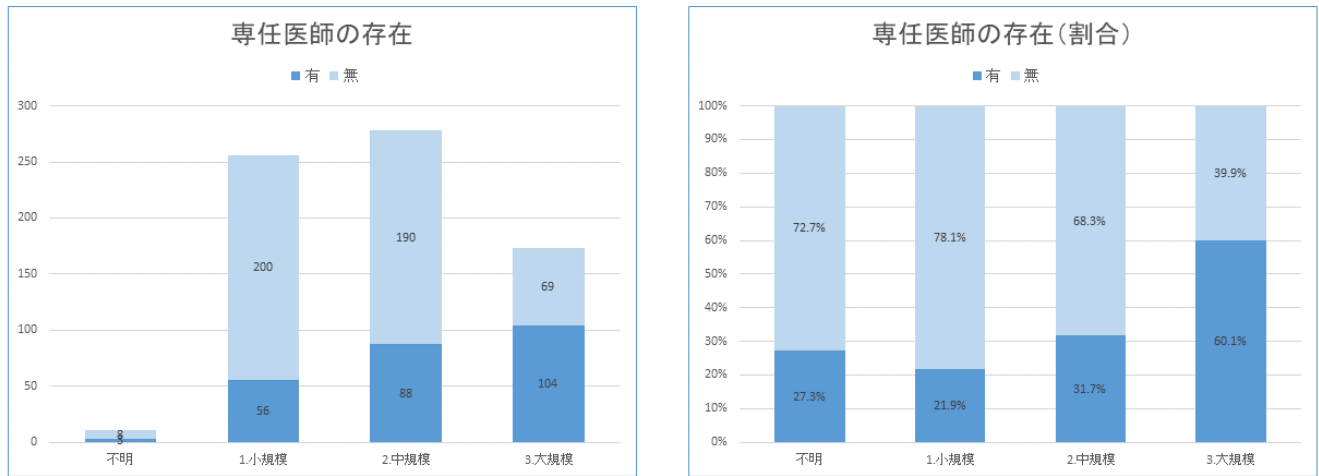


図 123

病院規模と兼任医師の存在

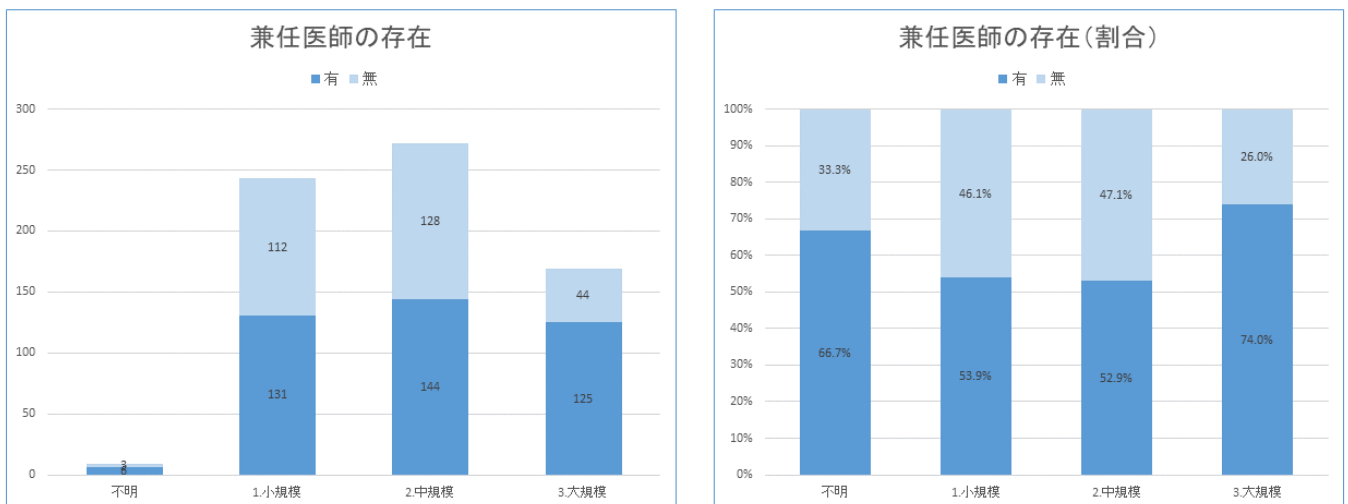


図 124

医療安全管理業務の社会ニーズ充足度

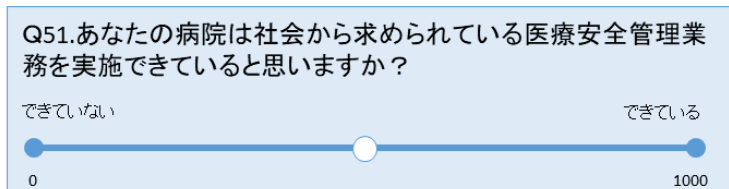
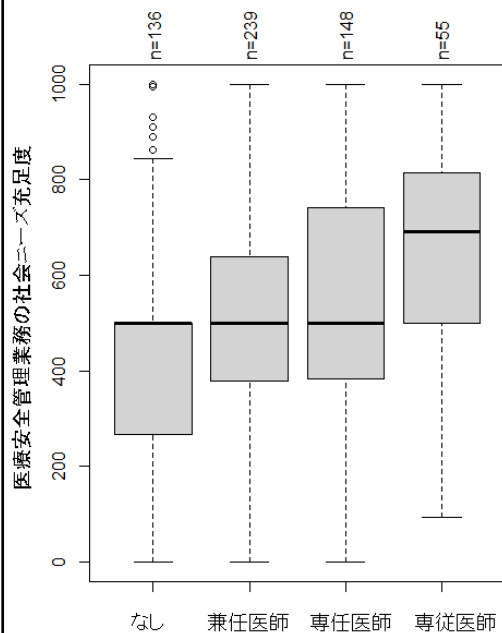


図 125

医療安全管理業務の社会ニーズ充足度



分散分析(ノンパラメトリック)

Kruskal-Wallis rank sum test
Kruskal-Wallis chi-squared = 42.61, df = 3, **p-value = 2.979e-09**

統計学的な有意差がある

多重比較(ノンパラメトリック、p値調整法:ボンフェローニ)

Pairwise comparisons using Wilcoxon rank sum test with continuity correction
P value adjustment method: bonferroni

	医師配置なし	兼任医師まで	専任医師まで
兼任医師まで	0.00211	-	-
専任医師まで	0.00051	1.0000	-
専従医師	3.1e-08	2.6e-05	0.00769

図 126

医療安全管理業務の社会ニーズ充足度

多変量解析(ダミー変数を含む重回帰分析、ステップワイズによる変数選択)

変数名	偏回帰係数	標準誤差	T値	P値	分散拡大要因	標準化偏回帰係数
専従薬剤師の人数	49.2841	28.7807	1.7124	0.0874	1.4612	0.5608
専従医師の人数	58.9866	27.1556	2.1722	0.0303	1.8746	0.1274
専任薬剤師の人数	32.9236	18.0499	1.8240	0.0687	1.0318	0.0874
兼任医師の人数	12.2418	3.7722	3.2453	0.0012	1.2269	0.0157
安全責任者の積極性	0.2556	0.0375	6.8153	0.0000	1.6833	0.0120
兼任医師の経験年数	3.3227	1.4082	2.3596	0.0186	1.1476	0.0056
安全医師の積極性	0.2278	0.0374	6.0824	0.0000	1.7299	0.0007
専従医師の経験年数	-7.2195	3.8050	-1.8974	0.0583	1.6638	-0.0138
(定数)	200.2972	20.3350	9.8499	0.0000		
自由度調整済み決定係数	0.3498					
n	578					

図 127

医療安全責任者の積極性

Q48. 貴院の医療安全責任者(院長や副院長)の医療安全活動に対する姿勢についてお尋ねします。

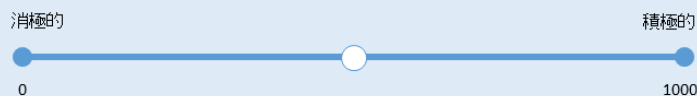
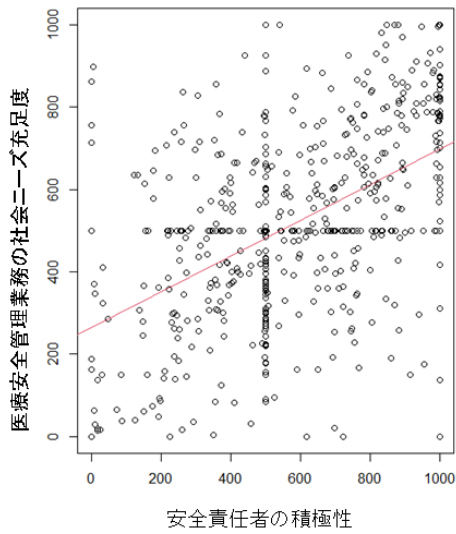


図 128

安全責任者の積極性と医療安全管理業務の社会ニーズ充足度



相関検定

Pearson's product-moment correlation

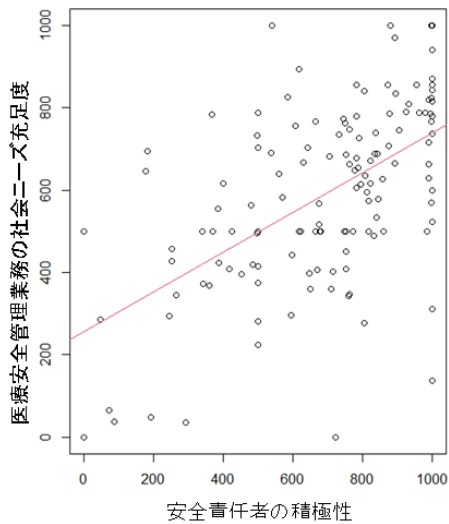
t = 14.062, df = 576, **p-value < 2.2e-16**
 alternative hypothesis: true correlation is not equal to 0
 95 percent confidence interval:
 0.4422046 0.5638366
 sample estimates:

cor
0.5055279

中程度の相関がある

図 129

安全責任者の積極性と医療安全管理業務の社会ニーズ充足度(大規模病院)



相関検定

Pearson's product-moment correlation

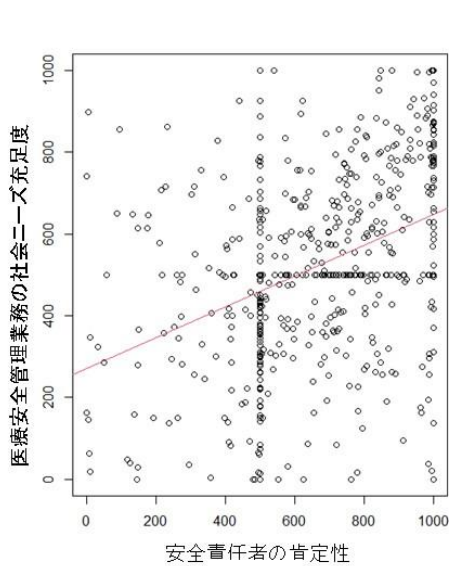
t = 7.8574, df = 138, **p-value = 9.984e-13**
 alternative hypothesis: true correlation is not equal to 0
 95 percent confidence interval:
 0.4296946 0.6609080
 sample estimates:

cor
0.5559644

中程度の相関がある

図 130

[全]医療安全管理業務の社会ニーズ充足度(安全責任者の肯定性)



相関検定

```

Pearson's product-moment correlation

t = 10.131, df = 576, p-value < 2.2e-16
alternative hypothesis: true correlation is not equal to 0
95 percent confidence interval:
 0.3174027 0.4559833
sample estimates:
cor
0.3888906
    
```

図 131

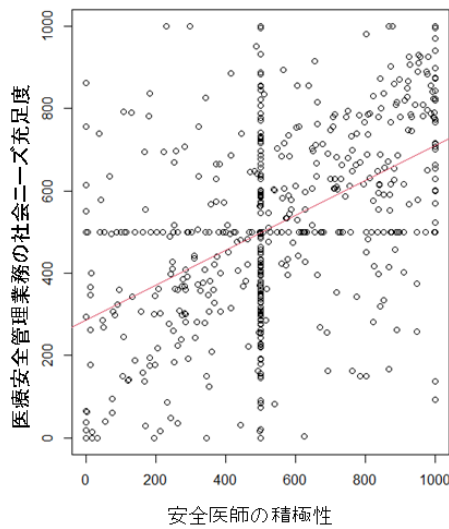
医療安全医師の積極性

Q49.医療安全管理部の医師の医療安全活動に対する姿勢についてお尋ねします。



図 132

安全医師の積極性と医療安全管理業務の社会ニーズ充足度



相関検定

Pearson's product-moment correlation

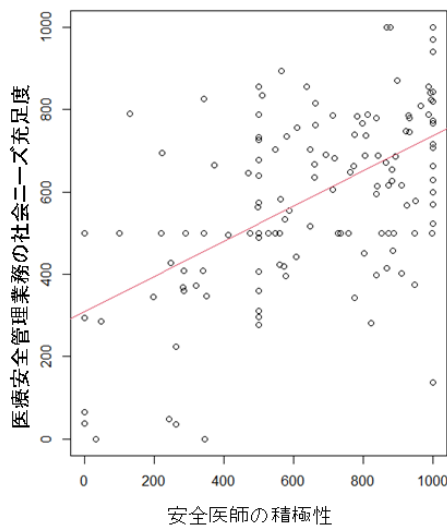
t = 13.913, df = 576, **p-value < 2.2e-16**
 alternative hypothesis: true correlation is not equal to 0
 95 percent confidence interval:
 0.4378716 0.5601603
 sample estimates:

cor
0.5015168

中程度の相関がある

図 133

安全医師の積極性と医療安全管理業務の社会ニーズ充足度(大規模病院)



相関検定

Pearson's product-moment correlation

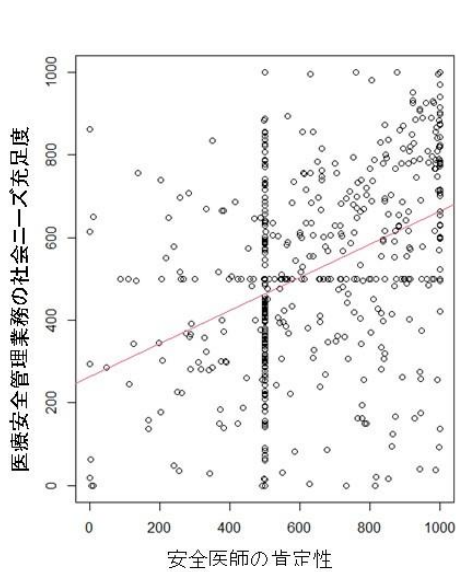
t = 7.5667, df = 138, **p-value = 4.904e-12**
 alternative hypothesis: true correlation is not equal to 0
 95 percent confidence interval:
 0.4126796 0.6490981
 sample estimates:

cor
0.5415085

中程度の相関がある

図 134

[全]医療安全管理業務の社会ニーズ充足度(安全医師の肯定性)



相関検定

Pearson's product-moment correlation

t = 10.649, df = 576, **p-value < 2.2e-16**
alternative hypothesis: true correlation is not equal to 0
95 percent confidence interval:
0.3351146 0.4715418
sample estimates:

cor
0.4055846

図 135

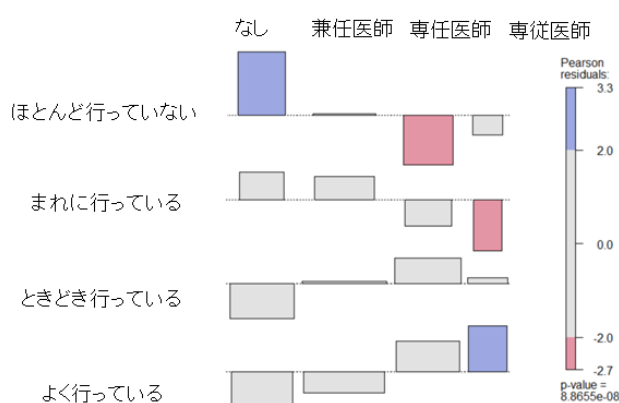
再発防止策の立案状況

Q44. 貴院では、医療事故調査において、有効な再発防止策の立案をしていますか？

- よく行っている
- ときどき行っている
- まれに行っている
- ほとんど行っていない

図 136

再発防止策の立案状況



χ²検定

Pearson's Chi-squared test
X-squared = 50.45, df = 9, **p-value = 8.866e-08**

統計学的に有意

分散分析(ノンパラメトリック)

Kruskal-Wallis rank sum test
Kruskal-Wallis chi-squared = 38.791, df = 3, **p-value = 1.922e-08**

効果量

Cramer's V : 0.17 効果量「小」

多重比較(ノンパラメトリック、p値調整法:ボンフェローニ)

Pairwise comparisons using Wilcoxon rank sum test with continuity correction
P value adjustment method: bonferroni

標準化残差

main_factor	target	0	1	2	3
0		3.33575697	0.06188414	-2.65496499	-1.04379423
1		1.47855893	1.23104619	-1.35650379	-2.69160543
2		-1.83980633	0.15123617	1.37356924	0.33591997
3		-1.76856025	-1.11029317	1.63430911	2.44042848

	医師配置なし	兼任医師まで	専任医師まで
兼任医師まで	0.0704	-	-
専任医師まで	2e-06	0.0028	-
専従医師	4e-05	0.0025	1.0000

p-value = 8.8655e-08

図 137

重大事故発生時の治療連携・緊急会議

Q36. 貴院の医療安全管理部門では、アクシデントや重大事故発生時の治療のための連携や、関係医師らとの緊急会議などを行っていますか？

- よく行っている
- ときどき行っている
- まれに行っている
- ほとんど行っていない

図 138

重大事故発生時の治療連携・緊急会議

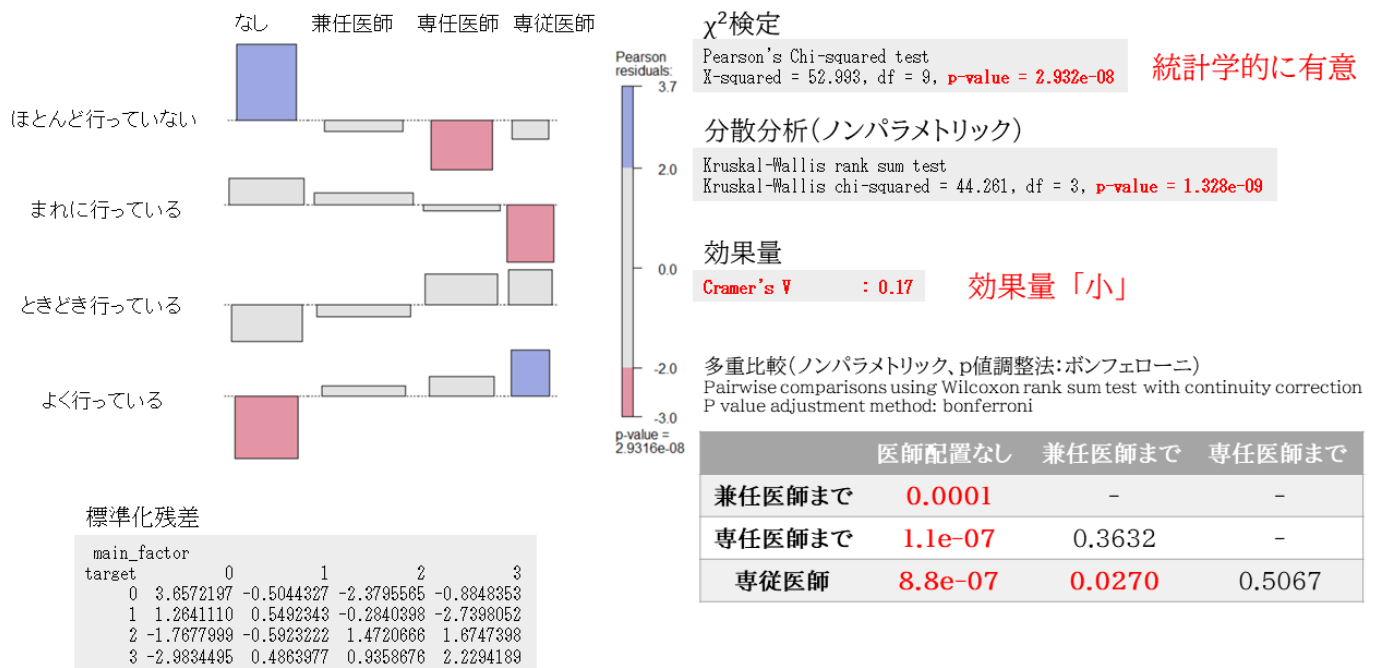


図 139

重大事故発生時の医学的評価判断

Q37. 貴院の医療安全管理部門では、アクシデントや重大事故発生時の病態の医学的評価、患者への影響や予後の判断を行っていますか？

- よく行っている
- ときどき行っている
- まれに行っている
- ほとんど行っていない

図 140

重大事故発生時の医学的評価判断

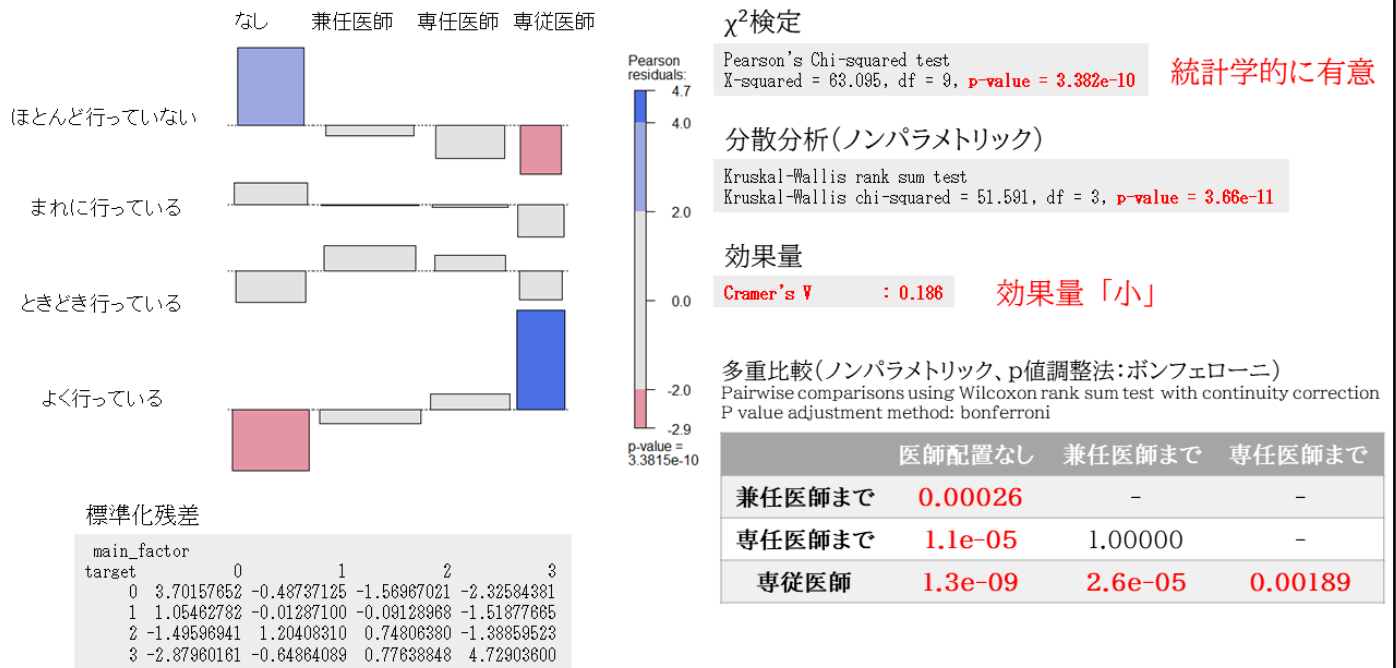


図 141

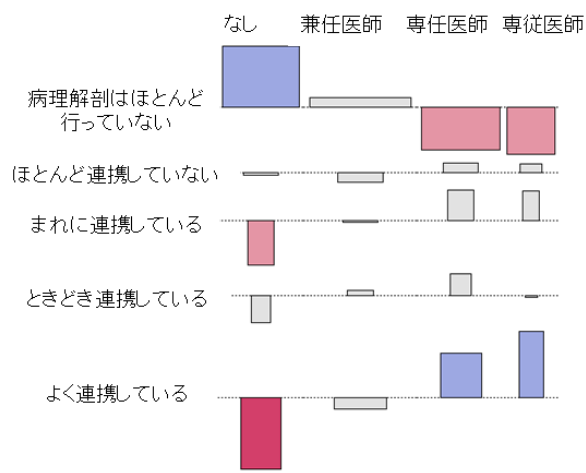
病理医と医療安全部門の連携

Q38. 貴院の医療安全管理部門において、医療事故調査制度における医療事故が疑われる死亡についての病理解剖の際、病理医と医療安全管理部門は連携していますか？

- よく連携している
- ときどき連携している
- まれに連携している
- ほとんど連携していない
- 病理解剖はほとんど行っていない

図 142

病理医と医療安全部門の連携



標準化残差

main_factor	target	0	1	2	3
0	3.3980296	0.5404768	-2.4075768	-2.6550752	
1	-0.1529333	-0.5382499	0.5509324	0.4360034	
2	-2.5323341	-0.1413122	1.6703556	1.6237686	
3	-1.5559333	0.2386838	1.2045411	-0.1254332	
4	-4.0061260	-0.6320693	2.4843887	3.7077741	

χ^2 検定

Pearson's Chi-squared test

χ -squared = 77.742, df = 12, p-value = 1.111e-11

統計学的に有意

分散分析(ノンパラメトリック)

Kruskal-Wallis rank sum test

Kruskal-Wallis chi-squared = 71.822, df = 3, p-value = 1.738e-15

効果量

Cramer's V : 0.207

効果量「小」

多重比較(ノンパラメトリック, p値調整法:ボンフェローニ)

Pairwise comparisons using Wilcoxon rank sum test with continuity correction
P value adjustment method: bonferroni

	医師配置なし	兼任医師まで	専任医師まで
兼任医師まで	4.1e-05	-	-
専任医師まで	4.5e-12	0.0022	-
専従医師	6.8e-13	6.1e-05	0.4227

図 143

放射線科医と医療安全部門の連携

Q39. 貴院の医療安全管理部門において、医療事故調査制度における医療事故が疑われる死亡についてのAi撮影の際、放射線科医と医療安全管理部門は連携していますか？

- よく連携している
- ときどき連携している
- まれに連携している
- ほとんど連携していない
- Ai撮影はほとんど行っていない

図 144

放射線科医と医療安全部門の連携

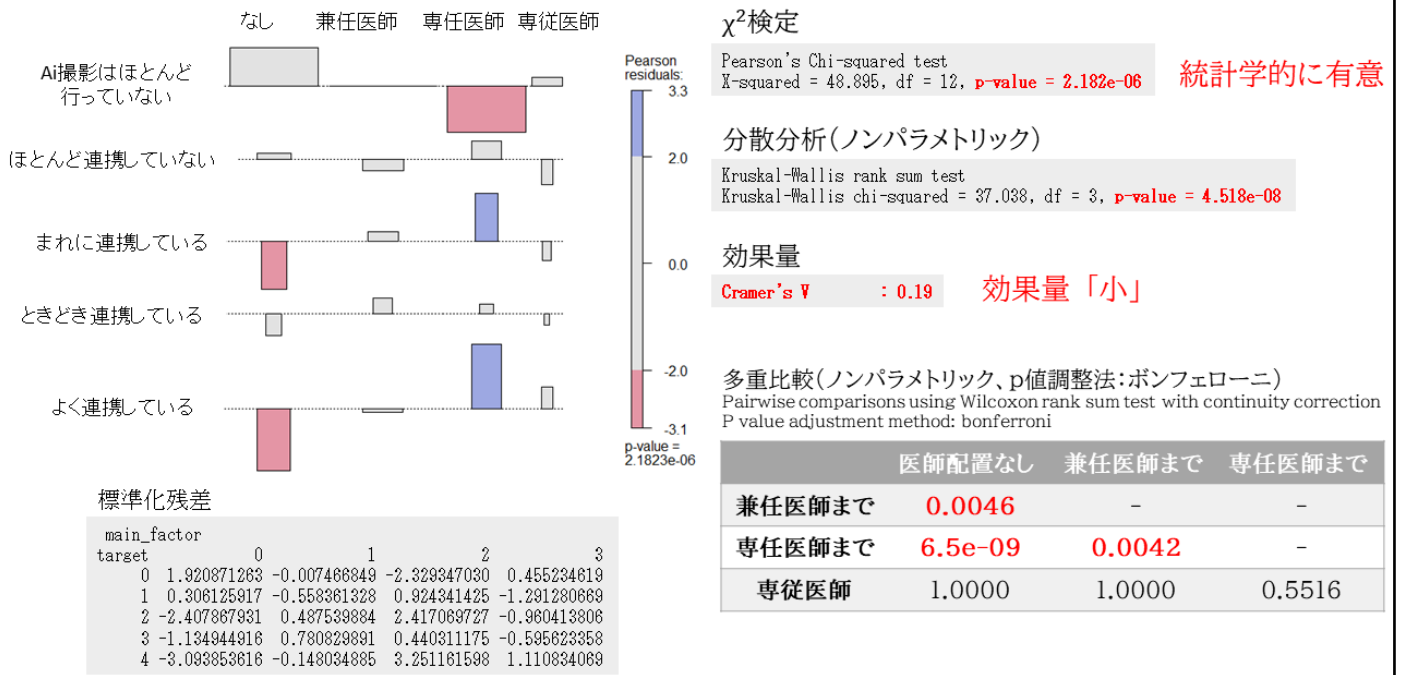


図 145

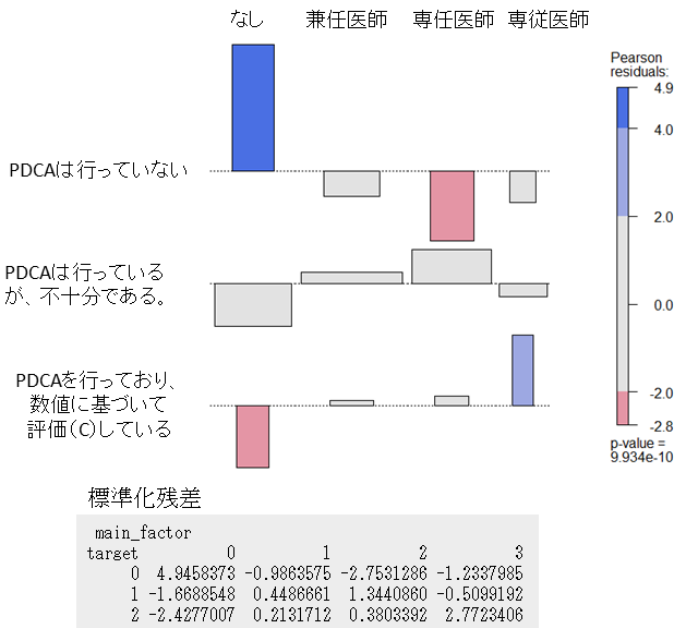
PDCAサイクル実施状況

Q43. 貴院の医療安全管理活動の改善のためのPDCAサイクルの実施状況を教えてください。

- PDCAを行っており、数値に基づいて評価(C)している
- PDCAは行っているが、不十分である。
- PDCAは行っていない

図 146

PDCAサイクル実施状況



χ²検定

Pearson's Chi-squared test
 χ^2 -squared = 53.359, df = 6, p-value = **9.934e-10**

統計学的に有意

分散分析(ノンパラメトリック)

Kruskal-Wallis rank sum test
 Kruskal-Wallis chi-squared = 44.428, df = 3, p-value = **1.224e-09**

効果量

Cramer's V : **0.214** 効果量「小」

多重比較(ノンパラメトリック, p値調整法:ボンフェローニ)

Pairwise comparisons using Wilcoxon rank sum test with continuity correction
 P value adjustment method: bonferroni

	医師配置なし	兼任医師まで	専任医師まで
兼任医師まで	6.4e-06	-	-
専任医師まで	5.3e-08	0.88	-
専従医師	2.5e-05	0.25	1.00

図 147

病院規模とCOVID-19患者受け入れ回答状況

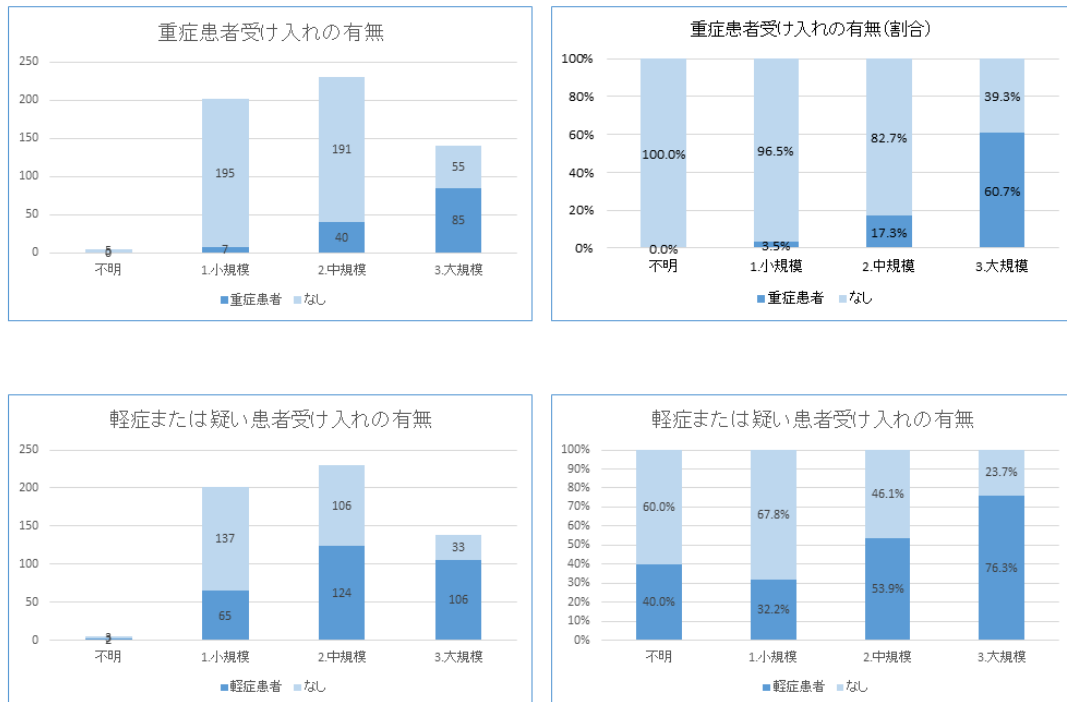


図 148

安全部門と感染制御部門の役割分担状況

Q59. COVID-19対応において、患者安全部門と感染制御部門の役割分担は明確でしたか？

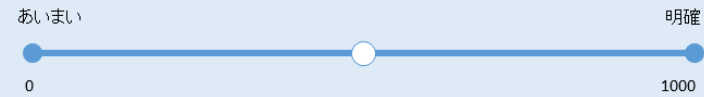
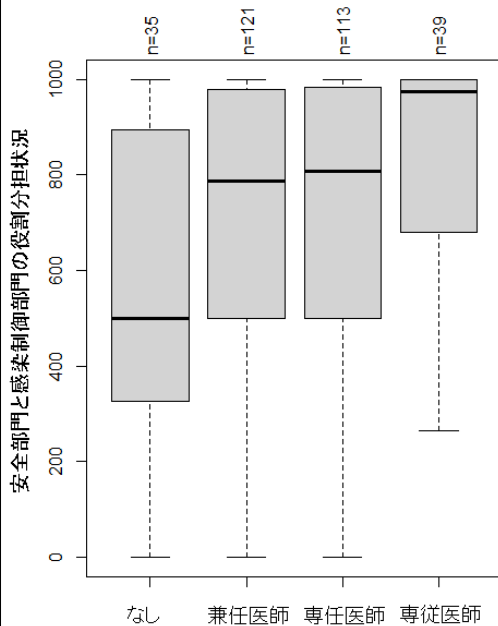


図 149

[全] 安全部門と感染制御部門の役割分担状況



分散分析(ノンパラメトリック)

Kruskal-Wallis rank sum test
Kruskal-Wallis chi-squared = 13.316, df = 3, **p-value = 0.004001**

統計学的に有意

多重比較(ノンパラメトリック、p値調整法:ボンフェローニ)

Pairwise comparisons using Wilcoxon rank sum test with continuity correction
P value adjustment method: bonferroni

	医師配置なし	兼任医師まで	専任医師まで
兼任医師まで	0.2782	-	-
専任医師まで	0.2408	1.0000	-
専従医師	0.0049	0.0477	0.1026

図 150

COVID-19影響下における患者安全業務の確保

Q60. COVID-19影響下において、患者安全業務が確保できていますか？

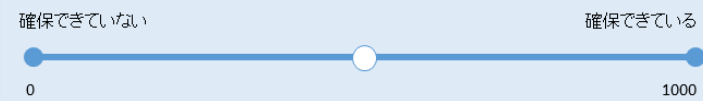
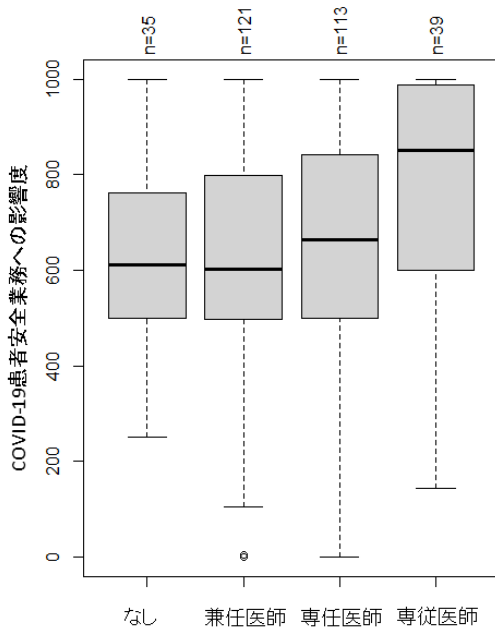


図 151

[全] COVID-19患者安全業務の確保



分散分析(ノンパラメトリック)

Kruskal-Wallis rank sum test
Kruskal-Wallis chi-squared = 12.865, df = 3, **p-value = 0.004939**

統計学的に有意

多重比較(ノンパラメトリック、p値調整法:ボンフェローニ)

Pairwise comparisons using Wilcoxon rank sum test with continuity correction
P value adjustment method: bonferroni

	医師配置なし	兼任医師まで	専任医師まで
兼任医師まで	1.000	-	-
専任医師まで	1.000	1.000	-
専従医師	0.0848	0.0037	0.0208

図 152